



九蔵峠展望台から撮影した御嶽山

木曽町・友好提携10周年

長野県木曽町とみよし市は友好提携・災害時
相互応援協定締結10周年を迎えました



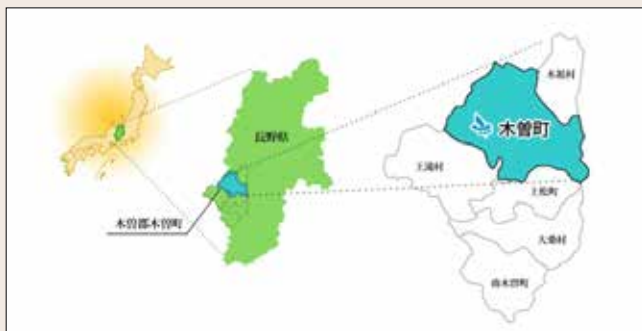
今年10月に、長野県木曾町とみよし市は友好提携および災害時における相互応援に関する協定の締結10周年を迎えました。愛知用水の要である牧尾ダム建設をきっかけに始まった両者の関係は、昭和58年10月に当時の三岳村と三好町友好提携として実を結びました。三岳村が町村合併で木曾町となり、三好町が市制施行でみよし市となった後も住民同士の交流は続き、平成23年10月に木曾町・みよし市の間であらためて友好提携を結び、併せて災害時における相互応援に関する協定を結びました。

今月の特集では、友好の歴史や木曾町の魅力をお伝えします。



▲広報きそまち11月号

木曾町のご紹介



▲木曾町のシンボル御嶽山

木曾町は平成17年11月1日に木曾福島町・日義村・開田村・三岳村の4町村が合併して誕生したまちです。長野県南西部に位置し、総面積の90%を山林が占める緑豊かな山間のまちで、長野県内の町村では最も広い面積を有します。夏と冬、昼と夜の寒暖の差が大きい内陸性気候で、四季折々の自然があふれる「日本で最も美しい村連合」の一つです。

人口 / 10,468人(令和3年11月1日現在)

面積 / 476.03 平方キロメートル(みよし市のおよそ15倍)

シンボル / 御嶽山



▲木曾町町章

木曾町的主要特産品・名所



①



②



③



④



⑤



⑥

①こもれびの滝、②すんぎ(木曾地方に古くから伝わる保存食で、塩を使わず赤カブの葉を乳酸菌発酵させた漬物)、③昭和50年から始まった日本で最も歴史がある室内楽の木曾音楽祭、④中山道宿場町、⑤義仲館、⑥令和3年4月5日に開庁した木曾町役場新本庁舎。木造一部鉄骨平屋建てで、木曾産材を使用し針葉樹や広葉樹の特性を活かした庁舎

※ 2~4 ページの写真は木曾町提供

木曾町×みよし市 交流の歴史

- 昭和33年 牧尾ダム建設のため、三岳村から7戸が三好町に移住
昭和36年 牧尾ダムが完成し、愛知用水が通水
昭和58年 友好の記念として三岳村に消防指令車1台、三好町にニホンカモシカの剥製をそれぞれ贈る
三岳村と三好町が友好提携を締結
平成6年 大渇水による水不足のため、三岳村から「御嶽の水」12,000本が三好町に贈られる
平成12年 三好町が三岳村の国有林を取得し、「三好町友好の森(現みよし市友好の森)」とする
平成15年 除間伐体験などを行う「友好の森ふれあいツアー」開始
平成17年 三岳村が木曾福島町、日義村、開田村との合併により木曾町となる
平成22年 三好町が市制施行によりみよし市となる
平成23年 木曾町・みよし市友好提携および災害時における相互応援に関する協定を締結(右写真)



木曾町×みよし市 交流事業

友好の森ふれあいツアー

毎年9月に木曾町にあるみよし市友好の森を訪れ、森林散策や除間伐作業による森の環境保全活動を行います。普段なかなか体験できないことに挑戦できる、人気のツアーです。



産業フェスタ

毎年11月に開催される産業フェスタには、木曾町も参加。そばまんじゅうや木曾地方の保存食である漬物「すんき」を使用したおやきなどが販売され、来場者に好評です。



三好いいじゃんまつり

木曾町(当時の三岳村)住民有志が、毎年8月に開催される三好いいじゃんまつりに平成6年から20回以上参加。木曾町をモチーフにしたTシャツの衣装で、踊りコンテストでは何度も受賞しました。



これからも交流を続けていくことで友好の絆を深め、この先の未来へつなげていきましょう